



2024年 1月号

発行 者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

事務局 人権センター

～外国人の人権について～

政府の政策や日本社会の国際化が進んできたことにより、日本に住む外国人が年々増加傾向となっています。天理市の外国人住民人口は、令和5年11月末日現在1,041人で約60人に1人が外国人ということになります。外国人といっても多様な国の方がおられますが、言語、宗教、文化、習慣等の違いから、外国人をめぐって多様な人権問題が発生しています。

下記の令和4年に内閣府が行なった調査によると、「あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや身の周りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか？」という問いでは、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」などが問題となっていることがうかがえます。



あなたが、日本に居住している外国人に関し、体験したことや、身の周りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか。複数回答 (%)

風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	【27.8%】
就職・職場で不利な扱いを受けること	【22.1%】
差別的な言葉を言われること	【19.5%】
職場・学校などで嫌がらせやいじめを受けること	【19.1%】
じろじろ見られたり、避けられたりすること	【18.8%】
アパートなどへの入居を拒否されること	【12.5%】
交際や結婚を反対されること	【12.3%】
宿泊などの施設利用や、店舗などへの入店を拒否されること	【5.1%】
特にない	【38.3%】

「人権擁護に関する世論調査」(令和4年8月調査)(内閣府)

URL: survey.gov-online.go.jp/r04/r04-jinken/gairyaku.pdf を加工して作成。

外国人に限らず、他人を理解するということは難しい問題だと思います。自分が「相手がどんな人物か想像して」勝手に人物像を作り上げ、理解したつもりになることがありますが、果たしてそれがどの程度合っているかはわかりません。しかも、相手も自分のことを勝手に想像し理解した気になっているのですから、他人と理解し合うというのは、相当な時間と努力が必要になると思われます。そうしたとき、相手が外国人の場合、国民性を参考にすることがあります。例えば、「〇〇人は積極的にコミュニケーションを取ろうとする」や「〇〇人はシャイで礼儀正しい」などです。国民性のイメージには様々なものがありますが、「〇〇人は自分勝手だ」「〇〇人は自己主張が激しい」など、マイナスなイメージと捉えられるものもあります。自分の中で相手にそのイメージを勝手に植え付けることが、差別やヘイトスピーチにつながるのではないのでしょうか。国民性といっても、その国民全員に当てはまることは決してありません。その国のごく一部によってなされた批判されるべき行為があったとしても、その国民全員に当てはまることでもありません。

人権に人種や国籍の壁はありません。多文化共生の地域づくりを進めていくには、公序良俗に反しない限り、外国人の宗教、習慣、文化を理解して、外国人が持つ価値観、生活習慣などの多様性を認め合い、お互いに尊重し合う意識を高めることが大切だと思います。

てんいち先生

